

在日大韓基督教会
宣教100周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

宣教100周年記念 合同修養会開催

参加者338名が感謝の中、KCCJの使命について展望

8月13・15日、宣教100周年記念合同修養会(主催・在日大韓基督教会、主管・合同修養会実行委員会)が、主題「感謝の100年、希望の100年」(Iテサロニケ5:18)、副題「遣わされたこの地で宣教に参与する教会」(創世記45:5)のもと、東京プリンスホテル(東京都港区)において開催された。参加者は、338名であった。

合同修養会は、鄭然元総会長の「神に遣わされた地で」と題するメッセージによる開会礼拝によって始まった。そして、朴寿吉総幹事による挨拶に引き続き、「在日大韓基督教会の歩みと展望」と題しての講演が李清一牧師(在日大韓基督教会館長)からあった。講演において李清一牧師は、KCCJの100年の歩みを辿った後、KCCJの宣教課題として、自らの宣教課題として、自らの



새일대한국교회 선교 100주년 기념 합동 수양회
在日大韓基督教会の宣教100周年記念合同修養会

のマイノリティとしての経験に根ざした先駆的な宣教活動をより一層進めることや、KCCJ内にある多様な性を豊かにすること、エキムニカル(教会一致)な活動の中で時代のしるしに回答する役割を担うことなどを挙げた。また、とくに「共生社会」というビジョンの具現化に対して特別な使命を負っているKCCJが、まずKCCJ内に多民族・多文化共生のモデルを創り出す必要があることが語られた。

その後、Uエンジェル重唱団による讃美があった。金仁煥牧師(総幹事)は、家庭や国家、世界における義人一人の役割の重要性に触れ、今日の時代における義人とは、主イエスを神の子として信じる者たち

れからの教会の役割として、教会が平和統一に對するビジョンを創っていくかなければならないことなどを挙げた。

引き続き、「宣教100周年以降の使命と課題」をテーマとしてのパネル・ディスカッション(司会・金秀男長老)が行われ、金貞姫勸士(関東地方会女性連合会会長)、金浩宇氏(青年会全国協議会副代表委員)、朴龍澤牧師(京都教会)、李明信牧師(山形ウリ

教会、河礼子執事(全国教会女性連合会副会長)、朱喜哲氏(青年会全国協議会代表委員)が加わり、主にKCCJの多様性の中の一員としての役割について議論した。

その後、教会ごとの参加者の紹介が、各教会の過去と現在の写真をプロジェクターで映しながら行われた。金仁煥牧師は講演の中で、神に對する徹底的に従順な生き方が私たちの人生を力あるものにする

こと、そして、主イエスに倣って従順な生活を送る時に、その力が現われ、あらゆる関係が円満になることなどを説いた。また、従順の力は、神の祝福をもたらす力であり、神を喜ばせる力であり、共同体を強健とする力であると語った。

集会后には、鄭信天長老(韓国治癒福祉研究所所長)による特別講義「笑いの信仰」が行われ、「笑い」と「信仰」の関係に触れる中で、キリスト者は喜びに満ち溢れた人生を生きるため

西南地方会が大会を開催

總會宣教100周年を記念して

7月21日、總會の宣教100周年を記念し、宣教100周年記念西南地方会大会が福岡教会で開催された。8月の宣教100周年記念合同修養会、10月の記念大会まで、地方会内で宣教100周年の雰囲気をつくりだすという趣旨も込めて開催された大会には、西南地方会のみならず、日本基督教団および日本キリスト教会の教役者、信徒を含め、130人を超える参加があった。

総合同会を金聖孝牧師(熊本)が行う中、開会礼拝では、宋聖宰長老(折尾)の司会のもと、西南地方連合聖歌隊(指揮・南愛子勸士)による特別讃美の後、「新しいいぶどう酒は新しい皮袋に」(マルコ2:15、22)と題して、地方会会長の宋文洪牧師が説教を行った。

引き続き、金明均牧師(福岡中央)の司会のもと、副総会長の崔榮信牧師、日本基督教団九州教区議長の

西畑望牧師、日本キリスト教会九州中会議長の権藤國光牧師よりそれぞれ祝辞をいただいた。その後、在日1世の信徒、とくに80歳以上の方々に対して、感謝の意を表し、記念品を贈呈した。韓国からは、大邱忠誠教会の崔榮泰牧師と青年22名が駆けつけ、参加者全員に記念品を配った。

その後、李清一牧師(在日大韓基督教会館長)を講師に迎え、「感謝の100年、希望の100年」と題しての記念講演があった。在日大韓基督教会(KCCJ)の100年の歴史を知り、新たな100年に希望をもつようにと私たちに語りかけてくださった貴重な時間となった。

その後、崔正剛牧師(博多)による西南地方会の歴史を振り返るスライド鑑賞を行い、各教会の現在の姿と過去の姿を鑑賞する中、観衆からは昔を懐かしむ声があちらこちらで上がった。

に、まず「笑い」によって全身を満たす努力をする必要があることなどを説いた。

その後、前日に引き続き、Uエンジェル重唱団による讃美があった後、金仁煥牧師による三回目の集会が行われた。「巡って歩まれる主イエス」(マタイ4:23、25)と題して行われた講演では、ガラヤを巡る中、人びとから蔑視と差別を受けた人々を愛し、救った主イエスを模範としなければならないことなどが語られた。また、す

れぞれの立場からの話が合った。

教会学校の生徒たちによる讃美の後、西南地方教会女性連合会によるスタンツがあり、笑いに満ちた楽しい時間をもった。

最後に、姜富子執事の祈り、福岡教会が準備した夕食を囲んで愛餐会の時間をもった。100年前に思いを合せる中、喜びに満たされる大会となった。

『在日大韓基督教会
宣教90周年記念誌』

○78の個教会・伝道所の歩み
○5地方会の歴史
○青年会・女性会の歴史
○宣教90年の歴史年表
(口絵7ページ/本文438ページ)
定価●4500円(送料含む)
◆お申し込みは、各教会に。

在日大韓基督教会
宣教100周年記念大会

主 題:「感謝の100年、希望の100年」
(Iテサロニケ5:18)
副 題:「遣わされたこの地で宣教に参与する教会」
(創世記45:5)

日 時:2008年10月13日(月)
場 所:大阪女学院ホールチャペル
大阪市中央区玉造2-26-54
プログラム:第1部:記念礼拝 13:00~13:50
第2部:記念式典 13:50~14:45
第3部:祝 賀 会 15:00~16:30

電話：03-3202-5398